

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター

ICU・HCU に入院された患者さん・御家族の皆様へ

「COVID-19 入院患者における重症化予測としての早期警告スコア (Visensia Safety Index) の有用性の検証」について

(1) 研究の目的

病棟での患者さんの急変の予兆を発見するため、バイタルサインや酸素投与の有無などを用いた早期警告スコア (EWS: Early Warning Score) が欧米を中心に広く用いられています。重症化の予兆を検出し、早期介入につなげることで患者さんの予後の向上が期待されます。EWS の一つとして、英国では Visensia Safety Index (VSI) と呼ばれるスコアが開発されており、本邦においては、日本光電工業 (株) が「バイタルサイン統合指標ソフトウェア QP-970P Visensia (認証番号: 302ADBZX00102000)」として、VSI スコア演算・表示ソフトウェアの薬事認証を取得しました。本研究では、VSI の臨床的有用性について評価を行います。

(2) 研究対象について

2020年2月1日～2021年10月31日に COVID-19 で聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院救命病棟 (ICU・HCU) に入床した 18 歳以上の患者さんが対象になります。

年齢、性別、身長、体重、疾患名、併存疾患、ICU 入室の有無、検査所見、入退床・転床記録、人工呼吸器使用の有無、酸素投与の有無、イベント発生 (挿管、死亡) の有無、生体情報モニタのバイタルサインデータが記録されます。本研究は純粋な観察研究であり、患者さんにいかなる利益・不利益が生じることはありません。

(3) 個人情報の保護について

この研究では個人を特定できるような情報は一切登録されません。

(4) 研究結果の公表について

研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表される予定です。

その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心ください。

※ この研究の対象となられる方で、ご自分あるいは御家族の情報を登録したくない場合は 2022 年 10 月 31 日までに下記連絡先までご連絡下さい。 研究への参加を希望されない患者さんの情報は削除し、研究データとして使用することはありません。なお、申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

連絡先

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター

住 所：〒241-0811 神奈川県横浜市旭区矢指町 1197-1

電 話：045-366-1111 (代)

担当医師：谷井梨美 PHS 8323